

福島県病院事業管理者
高地英夫様

県立病院事業経営評価委員会
委員長 竹之下 誠一

県立病院改革プランの取組状況の自己評価について

このたび、県から示された「県立病院改革プラン取組状況報告書」と「自己評価結果」については、概ね妥当であると評価できます。

また、より住民の視点に立った県立病院の経営改善を進める観点から、当委員会設置要綱第2条の規定に基づき、下記のとおり助言します。

記

1 県立病院の技術力向上と魅力づくりについて、より一層取り組む必要がある。

- 県立病院全体としての技術力向上のためのチーム医療の推進
- 血液内科や消化器内科など、高度・専門医療への特化
- 各種研修・講習会の効果的な実施による人材育成の推進 など

2 患者さんや地域に頼られる病院づくりに取り組む必要がある。

- 既に相当程度実施している「出前講座」や「医療相談」の充実
- 医師会加入や研究会等の開催による開業医との連携強化
- 透析患者の負担軽減 など

3 財務体質・経営データ分析のスピードアップなど経営企画力を強化する必要がある。

- 患者満足度調査のデータ変動要因の把握
- 人件費比率、紹介率及び逆紹介率向上のための具体的措置の実施
- 収益向上・経費縮減を図る効果的な取組みの推進
(ジェネリック使用の推進、予防医学の観点から検診事業の推進、手術件数の拡大、DPC制度への参画) など

4 へき地医療支援のための先行投資に取り組んでいく必要がある。

- 国保診療所等の診療支援としての画像伝送システムへの構築
- 安定的な医師供給のシステムづくり
- 退院支援体制の充実 など